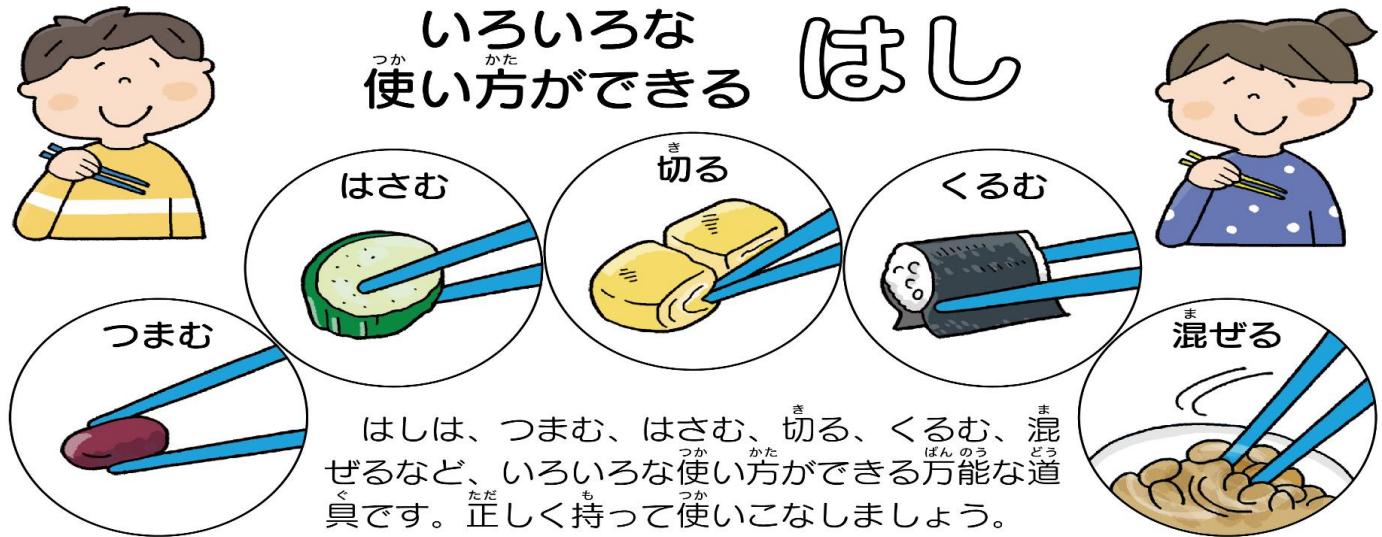


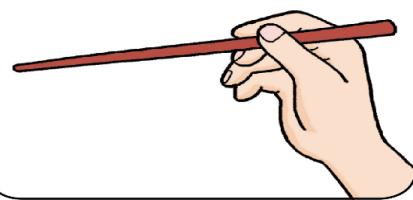
暦の上では、2月4日の立春で春を迎ますが、まだまだ厳しい寒さが続いています。三寒四温という言葉がありますが、冬に3日間くらい寒い日が続き、その後に4日間くらい暖かい日が続くことを言います。この現象が繰り返されると暖かくなると言われています。寒い冬が終わるとやがて春が訪れます。残りの寒い季節も温かいものを食べるなどして楽しみながら、春を待ちましょう。

いろいろな使い方ができる はし



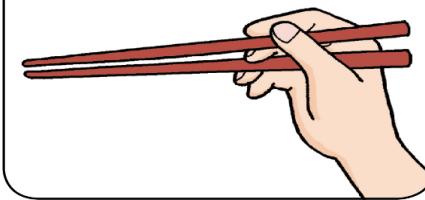
はしは、つまむ、はさむ、切る、くるむ、混ぜるなど、いろいろな使い方ができる万能な道具です。正しく持って使いこなしましょう。

1



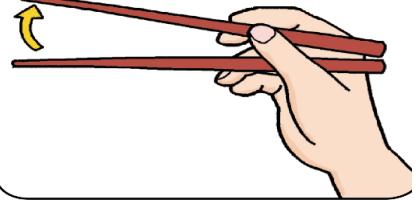
上のはしは、正しい鉛筆の持ち方で軽く持ち、数字の1を書くように縦に動かしてみましょう。

2



下のはしは、親指のつけ根から、中指と薬指の間に通します。はし先はそろえましょう。

3



親指を支点にして、中指で上のはしを持ち上げ、上のはしだけを動かしましょう。

～馬宮東小給食週間を実施～

1月19日から23日の馬宮東小給食週間の取組の1つとして、給食委員会の児童による給食朝会を行いました。食事のマナーを守ろう、きれいに片付けよう、ご飯粒まできれいに食べようといった内容を、クイズを交えて伝えました。給食時間に各クラスに行くと、「箸の向きを揃えなきゃ」「ご飯粒残ってないよ！」といった声を聞くことができ、朝会で学んだ内容を実践している姿が見られました。給食時間に限らず、御家庭でもぜひ取り組んでみてください。

22日には、昔の献立として、【はくはん、牛乳、鮭の塩焼き、すいとん汁】を提供しました。1889年に初めて貧困児童を対象に無償で提供された給食が、おにぎり、塩鮭、漬け物だったそうです。すいとんは、戦時中に米の代わりとしてよく食べられていたそうです。子どもたちは、もちもちとした食感のすいとんを喜んで食べていました。1日3食、充実した食事ができることへの感謝の気持ちを忘れないでほしいと思います。

